

大学院 工学研究科 博士前期課程 化学・環境・生命工学専攻 応用化学コース

ディプロマ・ポリシー

研究科DP

- (1) 人類が現在直面している持続不可能性をもたらす諸課題の解決に取り組み、専門職業人として社会の持続可能な発展を担うことができる。
- (2) 学士課程教育で得た成果をさらに高め、専攻における専門性と隣接する知識を総合して課題解決に取り組むことができる。
- (3) 研究活動を介して、課題内容を理解し解決策を導くことができ、倫理観をもって他者との協働による課題解決に取り組むことができ、説明することができる。

専攻DP

- (A) 専攻が包含する幅広い技術的な背景を理解し、それぞれの専門性を深めながら複眼的な視点から課題解決に取り組み、社会の持続可能な発展に貢献できる。
- (B) 専門性に基づいた基本的実験および分析技術を身につけ、観察・解析することを通して結論を導き出すことができる。
- (C) 研究の結果を的確に発信でき、他者との協働により課題解決にあたることができ、さらに倫理的に行動することができる。

コースDP

- (I) 課題の中から化学に関わる諸点を抽出し、それを他分野からの視点を含めて多面的に分析することで合理的な解決策を見だし、社会の持続可能な発展に貢献することができる。
- (II) 多様な化学現象を観察および処理できる実験技術を身につけ、化学物質やプロセス技術がもつ危険性や環境への負荷を判断し、的確に行動できるとともに、多くの人々に状況を正確に伝えることができる。
- (III) 課題解決においては、特に環境・生命工学との融合的な視点を保ち、協働しながらグローバルに活動できる能力と意欲、倫理観を身につけ活動できる。

《DPを達成するために特に関連度の高い科目に◎》

分野	授業科目名	単位数	DP 1)	DP 2)	DP 3)	DP A)	DP B)	DP C)	DP I)	DP II)	DP III)	
共通 横断	数理科目 応用数学特論	2		◎	◎							
	応用物理学特論	2		◎	◎							
	学 際 目	外国語特論	2		◎	◎						◎
		技術経営特論	2	◎	◎	◎	◎					
		材料・デバイス開発実務特論	3		◎							
		グローバルテクノロジー特論a	1		◎							
		グローバルテクノロジー特論b	1		◎							
インターンシップ	2			◎			◎			◎		
専 門 横 断	基盤テクノロジーセミナーa	● 2										
	基盤テクノロジーセミナーb	● 2										
	研究倫理特論	2			◎			◎			◎	
	光機能性材料化学特論	2										
	環境化学特論	2	◎							◎		
	分析化学特論	2										
	ハイブリッド材料特論	2		◎								
	高分子材料特論	2		◎								
	エネルギー技術特論	2										
	物質科学特論	2										
	環境マーケティング特論	2										
	微生物学特論	2										
	酵素工学特論	2										
生物プロセス工学特論	2											
物 質 ・ 材 料 分 野	配位化学特論	2										
	固体化学特論	2	◎						◎			
	フラインゲミカルズ特論	2		◎					◎			
	高分子化学特論	2	◎									
	分子認識化学特論	2					◎			◎		
	超分子化学特論	2		◎					◎			
	有機合成化学特論	2		◎		◎						
	有機金属化学特論	2		◎								
	界面化学特論	2		◎								
	構造有機化学特論	2		◎								
	無機合成化学特論	2										
	物質・材料研究特論a	2			◎			◎				
	物質・材料研究特論b	2			◎			◎				

◀DPを達成するために特に関連度の高い科目に◎▶

分野	授業科目名	単位数	DP 1)	DP 2)	DP 3)	DP A)	DP B)	DP C)	DP I)	DP II)	DP III)		
専門	環境 ソ リ ユ ー シ ョ ン 分 野	生物環境物理学特論	2										
		自然生態系特論	2										
		資源リサイクル工学特論	2										
		バイオリサイクル工学特論	2										
		生物処理工学特論	2										
		環境計測特論	2										
		地域環境管理特論	2										
		計画数理特論	2										
		水環境施設特論	2										
		環境工学研究法 a	2										
		環境工学研究法 b	2										
		廃棄物工学特論	2										
		水質変換工学特論	2										
		環境計画特論	2										
		環境リモートセンシング特論	2										
		生命・ 医 工 学 ・ 食 品 分 野	生 命 ・ 医 工 学 ・ 食 品 分 野	生物物理学特論	2								
				バイオマテリアル特論	2								
				生体電子工学特論	2								
				バイオメカニクス特論	2								
分子生体機能学特論	2												
ナノメディシン特論	2												
生体情報学特論	2												
機能性食品学特論	2												
バイオ人工臓器特論	2												
生命工学研究法 a	2												
組織医学特論	2												
生命工学研究法 b	2												

(注) ●：必修科目

大学院 工学研究科 博士前期課程 化学・環境・生命工学専攻 応用化学コース

ディプロマ・ポリシー

研究科DP

- (1) 人類が現在直面している持続不可能性をもたらす諸課題の解決に取り組み、専門職業人として社会の持続可能な発展を担うことができる。
- (2) 学士課程教育で得た成果をさらに高め、専攻における専門性と隣接する知識を総合して課題解決に取り組むことができる。
- (3) 研究活動を介して、課題内容を理解し解決策を導くことができ、倫理観をもって他者との協働による課題解決に取り組むことができ、説明することができる。

専攻DP

- (A) 専攻が包含する幅広い技術的な背景を理解し、それぞれの専門性を深めながら複眼的な視点から課題解決に取り組み、社会の持続可能な発展に貢献できる。
- (B) 専門性に基づいた基本的実験および分析技術を身につけ、観察・解析することを通して結論を導き出すことができる。
- (C) 研究の結果を的確に発信でき、他者との協働により課題解決にあたることができ、さらに倫理的に行動することができる。

コースDP

- (I) 課題の中から化学に関わる諸点を抽出し、それを他分野からの視点を含めて多面的に分析することで合理的な解決策を見いだし、社会の持続可能な発展に貢献することができる。
- (II) 多様な化学現象を観察および処理できる実験技術を身につけ、化学物質やプロセス技術がもつ危険性や環境への負荷を判断し、的確に行動できるとともに、多くの人々に状況を正確に伝えることができる。
- (III) 課題解決においては、特に環境・生命工学との融合的な視点を保ち、協働しながらグローバルに活動できる能力と意欲、倫理観を身につけ活動できる。

◁DPを達成するために特に関連度の高い科目に◎▷

分野	授業科目名	単位数	DP 1)	DP 2)	DP 3)	DP A)	DP B)	DP C)	DP I)	DP II)	DP III)
共通 横断	応用数学特論	2		◎	◎						
	応用物理学特論	2		◎	◎						
	外国語特論	2		◎	◎						◎
	技術経営特論	2	◎	◎	◎	◎					
	材料・デバイス開発実務特論	3		◎							
	グローバルテクノロジー特論a	1		◎							
	グローバルテクノロジー特論b	1		◎							
インターンシップ	2				◎			◎			◎
専 門 横 断	基盤テクノロジーセミナー a	● 2									
	基盤テクノロジーセミナー b	● 2									
	研究倫理特論	2			◎			◎			◎
	光機能性材料化学特論	2									
	環境化学特論	2	◎							◎	
	分析化学特論	2									
	ハイブリッド材料特論	2		◎							
	高分子材料特論	2		◎							
	エネルギー技術特論	2									
	物質科学特論	2									
	環境マーケティング特論	2									
	微生物学特論	2									
	酵素工学特論	2									
生物プロセス工学特論	2										
物 質 ・ 材 料 分 野	配位化学特論	2									
	固体化学特論	2	◎						◎		
	フラインゲミカルズ特論	2		◎					◎		
	高分子化学特論	2	◎								
	分子認識化学特論	2					◎			◎	
	超分子化学特論	2		◎					◎		
	有機合成化学特論	2		◎		◎					
	有機金属化学特論	2		◎							
	界面化学特論	2		◎							
	構造有機化学特論	2		◎							
	無機合成化学特論	2									
	物質・材料研究特論a	2			◎				◎		
	物質・材料研究特論b	2			◎				◎		

◀DPを達成するために特に関連度の高い科目に◎▶

分野	授業科目名	単位数	DP 1)	DP 2)	DP 3)	DP A)	DP B)	DP C)	DP I)	DP II)	DP III)		
専門	環境 ソ リ ユ ー シ ョ ン 分 野	生物環境物理学特論	2										
		自然生態系特論	2										
		資源リサイクル工学特論	2										
		バイオリサイクル工学特論	2										
		生物処理工学特論	2										
		環境計測特論	2										
		地域環境管理特論	2										
		計画数理特論	2										
		水環境施設特論	2										
		環境工学研究法 a	2										
		環境工学研究法 b	2										
		生命 ・ 医 工 学 ・ 食 品 分 野	生 体 物 理 工 学 特 論	生体物理学特論	2								
				バイオマテリアル特論	2								
				生体電子工学特論	2								
バイオメカニクス特論	2												
分子生体機能学特論	2												
ナノメディシン特論	2												
生体情報学特論	2												
機能性食品学特論	2												
バイオ人工臓器特論	2												
生命工学研究法 a	2												
組織工学特論	2												
生命工学研究法 b	2												

(注) ●：必修科目